



いけーっ!!



1

10/13



2

①前夜祭では、谷和神楽団の奉納の舞。演目の「大江山」の酒吞童子との激しい立ち回りに拍手が湧く。②鉄道のガードは道中随一の難所。腰を落としてくぐるのはつらい。

3

10/14



③往来で縦横無尽の、みこしもみ。突っ込んでくるみこしに、沿道の観客も逃げ回る。④獅子の口から「こんにちは」⑤白壁の卯建(うだつ)の家屋が残る町。みこしもひと休み。⑥重さ30kgの大やっこはパワーとバランス、長い道中を振るスタミナが必要。⑦みこしの采配を振るう男の面構えは熱い。

4

5



「玖波祭」

宿場町を練り歩く

西国街道の風情を残す町を「いんよーひー」「いんよーとまーじ」「いんよーがへのへー」と、市指定重要無形文化財の「玖波本陣」陣入りやっこが先を行くと、「みっこしさんじゃ」の掛け声のみこしが後に続きます。



15

7



6

みんな祭り好きだ!



2

10/7

①鈴を鳴らす巫女(みこ)さんの奉納の舞に、観客の視線が集まる。②厳神社の急階段を慎重にみこしが下りる。③はっぴを新調したやっこは、気合も入る。先頭の長やりは約4メートル。バランスを取るのもひと苦労。隊列が一直線にそろって見えるよう気を配るという。④大名行列のお供の侍に扮した小学生。刀を持って、ちょっと興奮気味。



1



4



3

亀居城下を粛々と「小方祭」

無言のやっこの隊列が先導し、祭りの行列が小方の西国街道を行います。「忍びやっこ」と称されるやっこは、お目付けといわれる長やりを先頭に粛々と進み、続くみこしが氣勢をあげます。



1

①鮮やかな大漁旗の漁船が、港内を3周する。②島内の各家には、「大漁」「平和」などの願いに、川柳が添えられたあんどんが飾られていた。③船上の仮装した男たちが、怪しげな踊りを披露。



2



3

10/13

漁師の島では海の安全を祈願。「おしこみ」といわれる行事では、2隻を繋いだ漁船2組が、色とりどりの大漁旗をはためかせ港内を周回します。棧橋に近づいては、観客に紅白のもちやお菓子をまいて、祭りを盛り上げます。

派手、派手大漁旗なびかせて「阿多田例大祭」